

モンゼでの新生活が始まりました！

岐阜県の皆さん、こんにちは！日本は暑い夏、真っ盛りですね。
こちら、南半球にあるザンビアでは、ちょうど乾季の涼しい時期を迎えています。
気候の違いからも、“日本から遠くに来たんだな”と感じる日々です。
さて第2回は、ザンビアの首都ルサカと私が暮らす町モンゼを紹介します。
ザンビアの都会と地方、それぞれの魅力を感じていただけたら嬉しいです！



同じ国なのにこんなに違う！～都会と地方の暮らし～

首都ルサカ

- ・ザンビア最大の都市
- ・人口は約300万人
(大阪市くらい)
- ・舗装された道で車が多い
- ・ショッピングモールやレストランが多くある
- ・スーパーでは日本食も手に入る（醤油など）
- ・電気や水道が不安定な地域もあり格差を感じる



ルサカ市内のビルと露店



外資系スーパー



車通りの多い整備された道

任地モンゼ

- ・ルサカから南西へ190km、中規模の地方都市
- ・人口は約3万人（郡上市くらい）
- ・買い物はマーケットが中心
- ・町を抜けると未舗装の農村風景が広がる
- ・町中でも、牛が歩いている
- ・人との距離が近く、顔見知りが多い

岐阜から大阪くらいの距離があります。
道路状況が日本ほど良くないため、
バスで約4時間かかります。
道中には果てしない大草原が広がり、
見ても飽きません。この大平原の
奥に広がる人々の暮らしや自然の営みに
想像が膨らみ、ワクワクします。

ルサカ

モンゼ

↑ ザンビアの地図



道中の風景



ローカルマーケット



町中の牛

市場の友達と

通勤路にある市場で野菜を売っている友達です。いつも前を通ると、Emi〜！と呼んでくれ一緒にしゃべりしたりシマを食べたりしています。仕事終わり、おしゃべりするのが日課です。

挨拶を大切にする国、ザンビア



ザンビアでは、“Hello, how are you?”までがひとつの挨拶。
グループには一人ずつ声をかけ、電話でも急いでいてもまずは挨拶から。

通勤は15分ほど。毎朝30回以上も挨拶を交わしながら、ゆっくりと出勤しています。

このお便りのタイトル「マブカ〜？」

現地語で“Good morning, how are you?”の意味です。この挨拶なしでは、ザンビアの一日は始まりません。

そんなザンビアの日常からこのタイトルを選びました。

今月の1枚



最後までお読みいただき、ありがとうございました。
次回は、ザンビアの食を紹介します。
来月号もどうぞお楽しみに！

